

小郡市はなぜ「七夕の里」なのか

小郡市には、南北に縦断する宝満川をはさんで、機織りの女神・織女神(織姫)をまつる七夕神社(媛社神社)と、犬飼神(彦星)をまつる稻吉老松神社があります。それがまるで天の川をはさんだ織姫と彦星の物語のようであることから、小郡市は「七夕の里」と呼ばれています。

問 おごおり七夕プロジェクト会議事務局(商工観光課 商工観光グループ) ☎73-9103



市ホームページ

おごおり七夕フェスタ

日時 7月5日(日) 10時~16時 イオン小郡店

コストコート横 10時~16時

シルバー人材センターによる
オリリン・ヒコリン人形製作

オリリン・ヒコリンの木製人形をシルバー人材センターのスタッフと一緒に製作!

定員 25人(先着順) 参加費 500円

ひこぼし広場 10時~16時

おうち起業と連携
「叶え星文様」使用商品を中心とした
マルシェの同時開催

小郡市オリジナルの「叶え星文様」を使ったグッズが勢ぞろい。ここでしか手に入らない小郡らしいお土産を見つけに来てください。

あまのがわ広場 13時~14時

吹奏楽団による七夕演奏会

さまざまな楽器で奏でる木管五重奏が、小郡の七夕を華やかに彩ります。温かみのある生演奏を会場でお楽しみください。

NEW

あまのがわ広場 10時~正午

オリリン・ヒコリンフォトブース

七夕を象徴するキャラクター、オリリン・ヒコリンも登場!七夕をイメージした特別な空間で一緒に写真を撮りましょう。

NEW

あまのがわ広場 10時~16時

竹灯籠ライトアップ

会場のメインステージに竹灯籠がとまります。お昼でも幻想的な「七夕の夜」が広がる、フェスタ限定の特別空間をお楽しみください。

NEW

あまのがわ広場 14時半~16時

ストリートピアノコンサート

竹灯籠の温かな光に包まれたメインステージに小郡市のストリートピアノの音色が響きます。この日だけの思い出を作りましょう。

司会 子どもアナウンサー



みんなきてね~



「七夕の里」小郡で
星を見つけよう

小郡市は「七夕の里」と呼ばれており、市内には七夕神社をはじめ、七夕伝説や星にちなんだ名前が付けられたものがあります。また、織姫がデザインされた街灯や、橋の手すりに施された星の模様など、身近な生活の中で「星」を見つけることができます。

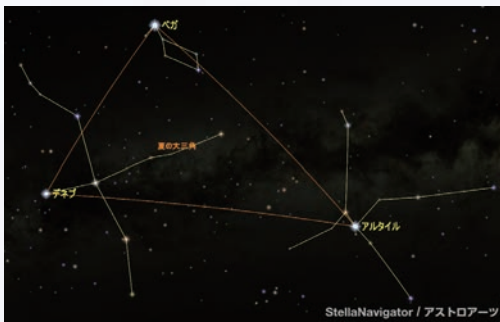
七夕伝説は、中国から日本に伝わった物語で、天帝の娘で働き者の「織姫」と、勤勉な牛飼いの「彦星」が、年に一度、7月7日の夜にだけ会うことができるという内容です。この2人は、実際に夏の夜空に輝く星として知られています。梅雨の影響で見えにくい日もありますが、8月になると見やすい位置に移動するため、簡単に見つけられます。この夏は、七夕伝説の「織姫」と「彦星」を夜空で探してみてください。

夏の星座たち

夜空に輝く織姫と彦星を探すときは、まず目印となる「夏の大三角」を見つけましょう。7月頃は東の低い空に、8月頃は南の高い空に、明るく輝く3つの星を結んで三角形を作ります。

この3つの星の中で最も明るい星が、七夕伝説に登場する「織姫」で星の名前は「ベガ」といいます。また、2番目に明るく、やや地平線に近い位置で輝いているのが「彦

夏の大三角



星」で、「アルタイル」といいます。

天気の良い日には、この2つの星の間に「天の川」と呼ばれる星の集まりを見ることが出来ます。七夕伝説では、この天の川が織姫と彦星を隔てる大きな川として描かれています。3つ目の星は、はくちょう座の「デネブ」です。七夕伝説が生まれた中国では、この白鳥をカササギと考えていたといわれています。カササギは、年に一度出会う織姫と彦星のために、天の川に橋を架ける存在として伝えられています。

古来より、人々は星を見上げな

がら夜を過ごしてきました。かつて小郡の地で暮らしていた人々も、現代と同じように、織姫と彦星が出会えるようお願いを込めながら夜空を見上げていたのかもしれない。

「七夕の里」と呼ばれる小郡市には、今も星空にまつわる文化や伝説が息づいています。これからも、「七夕の里」という名前や、小郡市に受け継がれてきた七夕文化を大切にしていきたいものです。

☎ 小郡市こども育成課(笹月)
73・9149

身近な生活の中にある“星”

織姫と彦星



七夕通りにある「七夕橋」(大崎)

彦星



織姫



「天の川大橋」(二森)

彦星と短冊



西鉄小郡駅前にある車止め